

第30回全国街路事業コンクール 第2次審査用資料

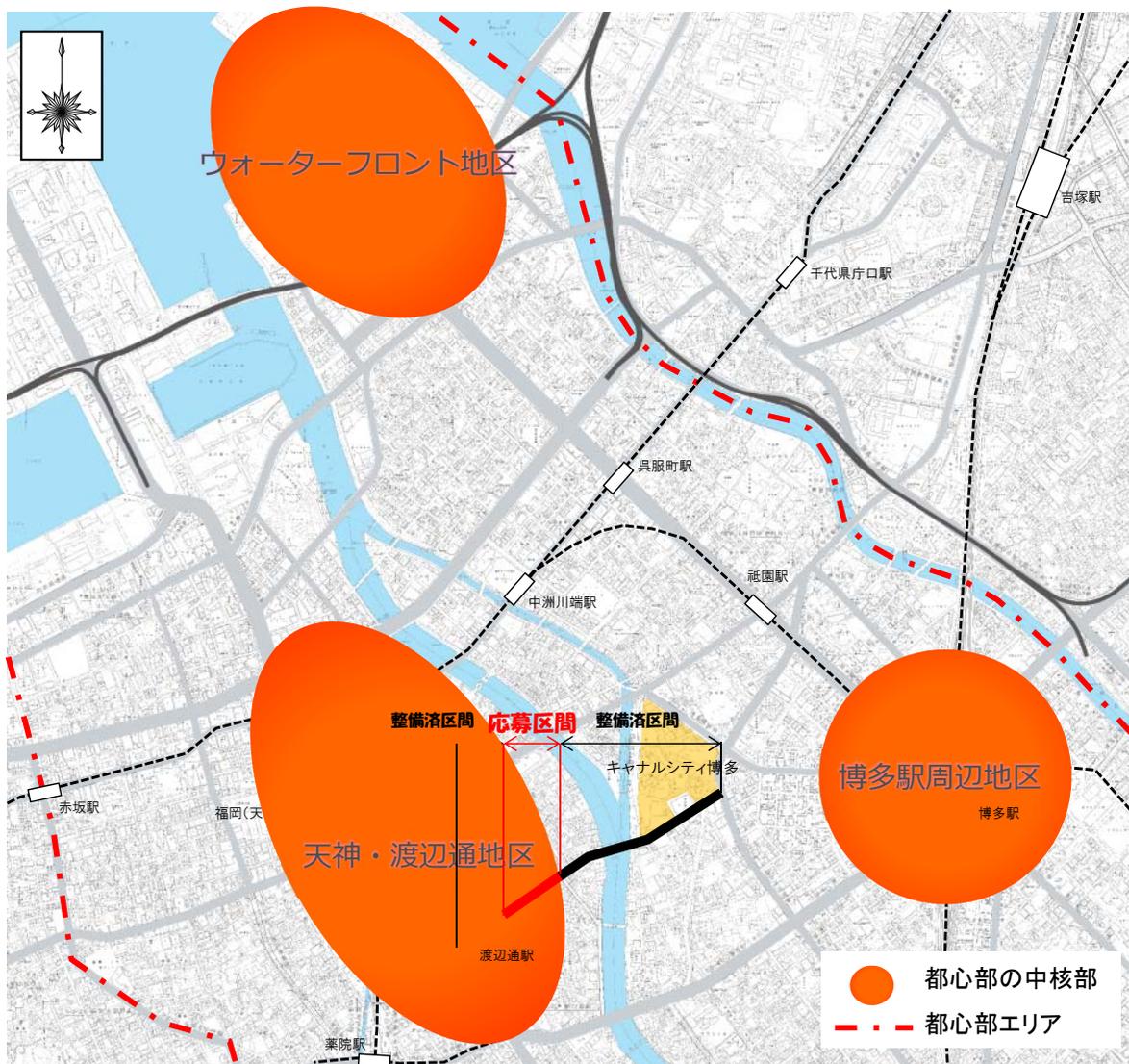
ふりがな 応募者名	ふくおかしどうろげすいどうきよく 福岡市道路下水道局	
街路事業	ふりがな 事業の名称	としけいかくどうろわたなべどおりはるよしせんせいびじぎょう 都市計画道路渡辺通春吉線整備事業
	ふりがな 事業主体	ふくおかし 福岡市
	ふりがな 実施都市名	ふくおかし 福岡市
事業概要 (400字以内)	福岡市の中心部に位置している春吉二丁目地区は、戦災を免れたため土地区画整理事業が実施されなかったことから、都市基盤が脆弱で狭小敷地や未整備細街路が多い。このため建物の機能更新が進まず老朽木造住宅が多く残っており、大規模地震時の延焼危険度や倒壊出火の危険性が高いなど、防災上や住環境上の課題を抱えている。そのため、安全・安心・快適な住宅市街地の形成や利便性の高い潤いのある居住・生活環境を確保等を図るため、街路、道路、老朽建築物等の除却、建替促進を行うものである。	
事業規模	○事業延長: 174m ○事業費: 約26億円	○幅員: 18m ○事業期間: 平成21年度～平成28年度
事業の目的	春吉二丁目地区内の生活道路には周辺幹線道路から渋滞回避の車両が流入しており、地区周辺での交通渋滞の発生や、歩行者が安心して歩けない状況となっているため、地区利便性及び安全性の向上を図る。 また、東西の周辺地区とのネットワーク機能強化を図り、密集住宅市街地における延焼遮断帯として機能させる。	
事業効果 (効果一覧を参考に具体的な効果を記入)	<ul style="list-style-type: none"> ・都心部の新たな交通ネットワークの形成 ・安全・安心・快適な歩行空間の確保 ・春吉交番移転による安全面の強化 	
地元対応等	<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民との協働等 ・事業反対等があったか ・合意形成等を図ったか ・地域に配慮した点 <p>・本事業は、平成20年2月に関係町内会長など地域の代表者からなる「渡辺通・春吉線推進協議会」から、隣接する渡辺通駅北土地区画整理事業の完成が迫った中で、生活道路への通過交通流入による交通渋滞や事故の発生など、安全面における生活環境の悪化を懸念して早期事業化の要望を受け事業を実施している。 ・平成28年12月20日の供用開始の際には、「渡辺通・春吉線推進協議会」の代表の方にテープカットを依頼し、また地域の小学校も参加し和太鼓クラブによる記念演奏を行うなど、地域と一体となった開通式を行った。</p>	

完成全景

平成30年3月撮影



整備効果アピール資料



①都心部の新たな交通ネットワークの形成

都市計画道路渡辺通春吉線の整備により天神・渡辺通地区と博多駅周辺地区を結ぶ新たな交通ネットワークが形成された。12時間当りの交通量は約6,500~8,800台



整備前



整備後

②安全・安心・快適な歩行空間の確保

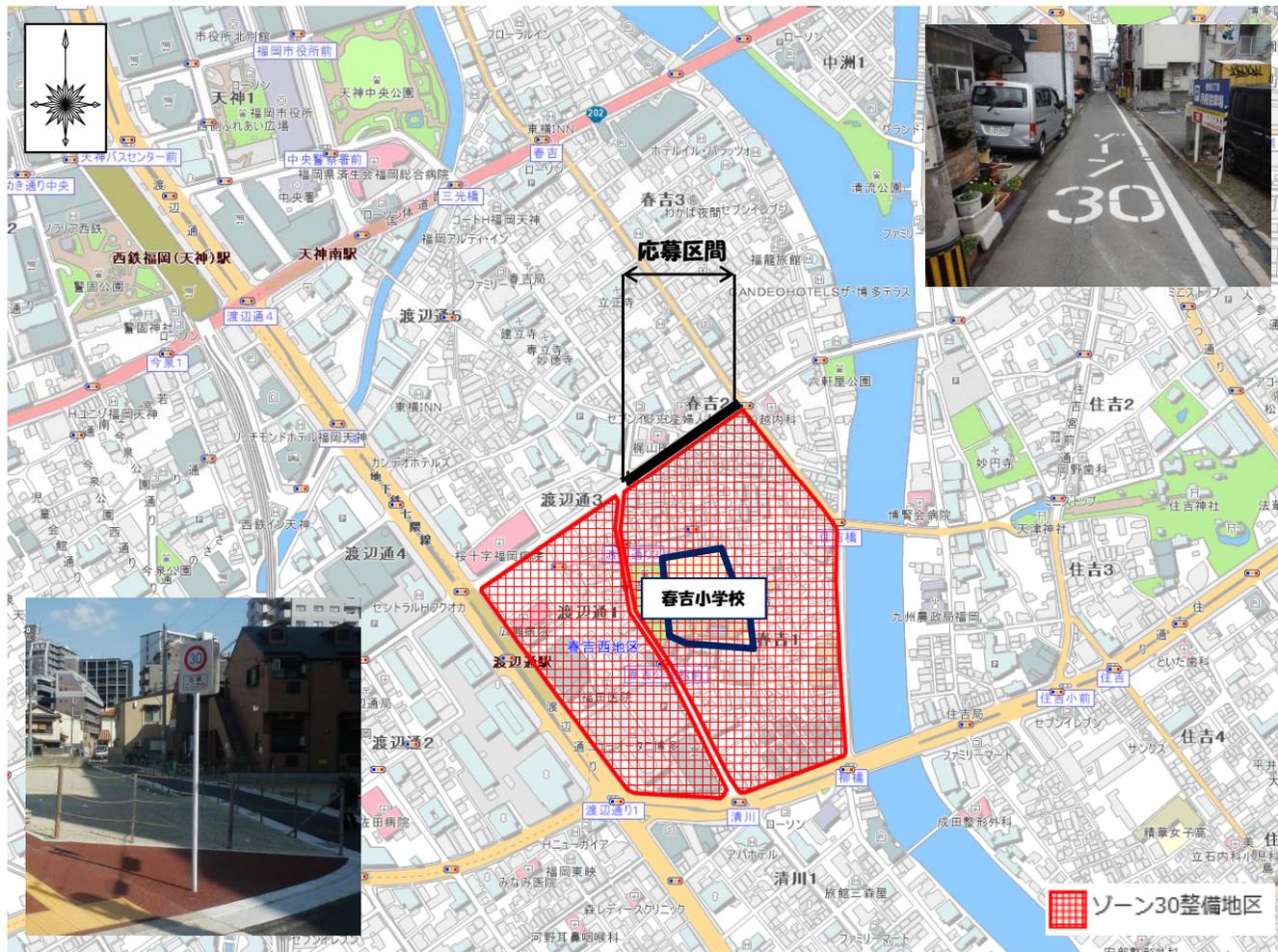
道路整備にあわせ無電柱化を行うことで、安全・安心・快適に歩ける歩行空間が確保され、災害時の道路遮断の防止などが図られた。また、商業施設等への回遊性が向上。



③春吉交番移転による安全面の強化

地域からの要望により新たな安心・安全の拠点、暴追のシンボルとして春吉交番を移転し安全面の強化を図る。

整備効果アピール資料



④ゾーン30

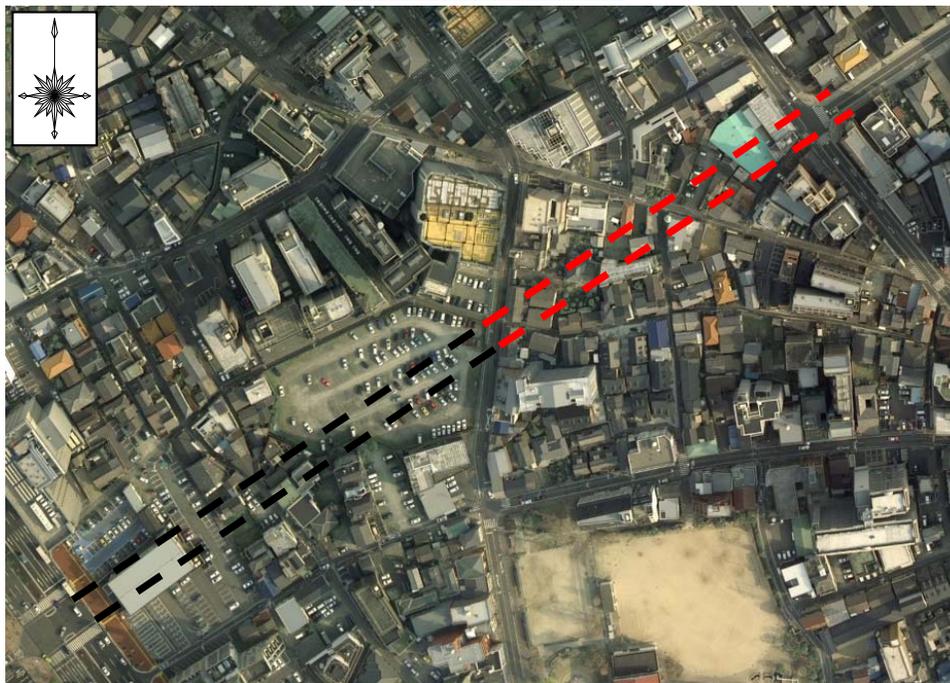
都市計画道路渡辺通春吉線を春吉小学校の通学路に指定すると共に、道路より南側のエリアを制限速度30km/hの「ゾーン30」と定め、周辺地区においても人優先の安全・安心な歩行空間を確保した。また、地域主催で渡辺通春吉線とゾーン30の供用開始の式典も行われた。



地域主催の式典

事業前写真

平成17年度撮影



平成20年度撮影



平成20年度撮影

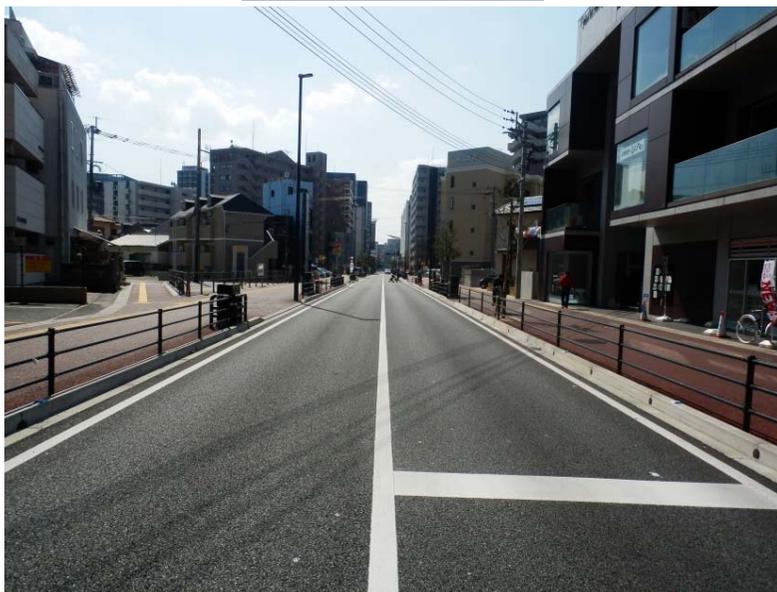


事業後写真

平成30年3月撮影



平成30年3月撮影

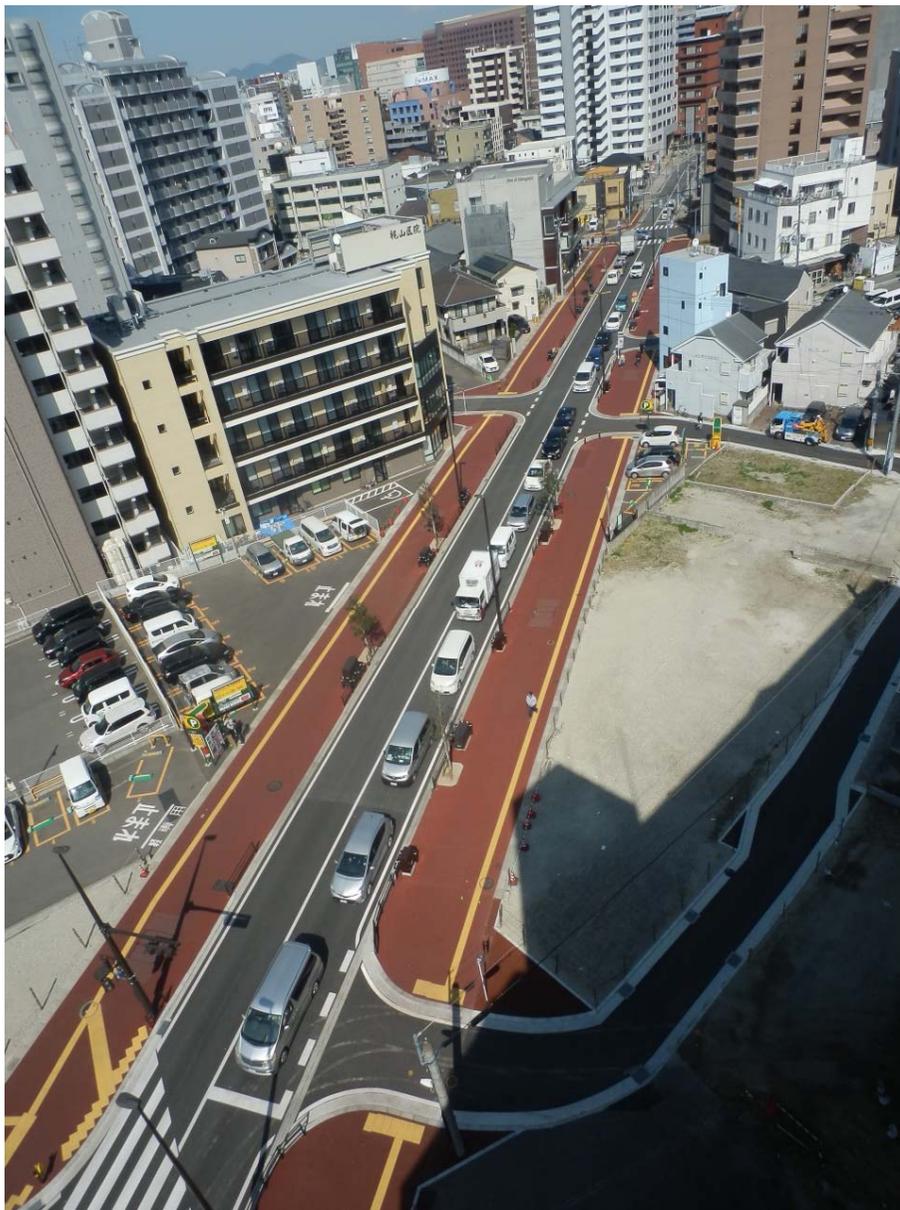


平成28年12月撮影



事業後写真

平成30年3月撮影



平成29年11月撮影



平成29年11月撮影



事業後写真

平成30年3月撮影



平成30年3月撮影



平成30年3月撮影

